

目 次

第 43 会大会 研究報告要旨

自由論題

- 初期近代ドイツ哲学におけるスピノザ（主義）の群像 津 田 葉 里 1
- 認識的障害と夢想
——18 世紀後半ドイツ語圏における「魂の自然学」について—— 大 林 侑 平 3

共通論題

- 学問・芸術の制度と「自由」
——18 世紀におけるアカデミー、大学、官僚機構—— 趣旨説明 隠 岐 さや香 4
- パリ王立科学アカデミーと「自由」 隠 岐 さや香 5
- 近代語による国家の創設
——アカデミー・フランセーズと啓蒙期の言語革命—— 玉 田 敦 子 6
- 王立絵画彫刻アカデミーにおける自由と不自由 栗 田 秀 法 7
- 近世（16～18 世紀）の文芸共和国とポーランド 小 山 さとし 哲 8
- 清の学問と権力
——梅文鼎『学暦説』をめぐる若干の考察 新 居 洋 子 10

論 文

- 18 世紀前半のブラウンシュヴァイクにおける公開オペラ
——ヴォルフエンビュッテルの宮廷オペラとの比較を通して—— 村 瀬 優 花 12

書 評

- オーランド・ファイジズ『ナターシャの踊り：ロシア文化史』上・下巻
鳥山祐介・巽 由樹子・中野幸男訳 金 沢 美知子 26
- チャールズ・バーニー『チャールズ・バーニー音楽見聞録〈フランス・イタリア篇〉』
今井民子・森田義之訳
『チャールズ・バーニー音楽見聞録〈ドイツ篇〉』小宮正安訳 松 原 薫 28
- 金山弘昌責任編集（足達薫・金山弘昌・金沢文緒・新保淳乃著）
『イタリア美術叢書Ⅴ 新生のアルストピア』 大 野 芳 材 30
- Shmuel Feiner, *The Jewish Eighteenth Century. A European Biography, 1700-1750*,
translated by Jeffrey M. Green 後 藤 正 英 33
- 松田聡『モーツァルトのオペラ 全21作品の解説』 大 崎 さやの 34
- Laurence Marie, *Inventer l'acteur : émotions et spectacle dans l'Europe des Lumières*
川 野 恵 子 37
- 定森亮『共和主義者モンテスキュー——古代ローマをめぐるマキアヴェッリとの交錯』
上 野 大 樹 38
- 上村剛『権力分立論の誕生——ブリテン帝国の『法の精神』受容』 網 谷 壮 介 42
- J.G.A. ポーコック『野蠻と宗教Ⅰ：エドワード・ギボンの啓蒙』田中秀夫訳
上 野 大 樹 44
- Robert Burton, *The Anatomy of Melancholy*, edited by Angus Gowland
榊 原 知 樹 47
- A.D. Cousins and Daniel Derrin (eds.), *Alexander Pope in the Reign of Queen Anne:
Reconsiderations of His Early Career* 福 本 宰 之 49
- Melissa Mowry, *Collective Understanding, Radicalism, and Literary History, 1645-1742*
落 合 一 樹 51
- 〈書評への応答〉『生と死——生命という宇宙』紹介
飯野和夫・沢崎壮宏・小松美彦・金子章予・川島慶子 53

展覧会評

| | |
|---|----|
| 「キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート展」 | |
| 桐島美帆 | 57 |

| | |
|------|----|
| 会員業績 | 59 |
|------|----|

| | |
|------|----|
| 編集後記 | 62 |
|------|----|

| | |
|----|----|
| 会則 | 63 |
|----|----|

| | |
|------------|----|
| 役員選出に関する細則 | 65 |
|------------|----|

| | |
|------|----|
| 投稿規定 | 66 |
|------|----|

